

## 令和元年度 多摩市交通安全対策会議 要点録

### 1 開催日時

令和元年10月17日（木）14:00～16:00

### 2 開催場所

多摩市役所第一委員会室

### 3 出席者 7名

会長 阿部裕行（多摩市長）  
委員 澤井晴美（東京都南多摩東部建設事務所長）  
委員 岩井文丈（警視庁多摩中央署長）  
（代理 中田交通課長）  
委員 槇野稔（東京消防庁多摩消防署長）  
委員 千田拓雄（多摩稲城交通安全協会会長）  
委員 清水哲也（多摩市教育委員会教育長）  
委員 佐藤稔（多摩市都市整備部長）

事務局 渡邊 淳二（多摩市都市整備部交通対策担当課長）外3名

### 4 会議要点録

#### （1）資料の説明等（事務局）

- ・ 配布資料の概要説明。
- ・ 多摩中央警察署岩井署長の代理として参加した中田交通課長の紹介。

#### （2）会長開会の挨拶（会長）

- ・ 台風15号での被害状況及び、台風19号での避難指示による避難所の報告。
- ・ 交通安全対策基本法第18条1項に基づき、多摩市交通安全対策会議を設置。多摩市内の交通安全の実施と推進の為、各関係機関・事業者と連携・協力している。
- ・ 多摩市内に交通事故による死傷者ゼロ、交通事故が無い社会を実現することを目指し、日頃より第10次多摩市交通安全計画の着実な推進の協力を感謝を申し上げる。

(3) 委員自己紹介

(4) 議題1

第10次多摩市交通安全計画に基づく平成30年度事業の実施状況について

① 東京都南多摩東部建設事務所（澤井委員）

■バリアフリー化した歩道の整備

- ・ 一般都道小山乞田線唐木田駅入口交差点付近から多摩南部地域病院交差点付近までの路面で、補修工事及び歩道の段差解消、視覚障がい者用の誘導ブロックの設置を実施。

■道路の整備

- ・ 一般都道小山乞田線南多摩尾根幹線道路の唐木田2丁目3丁目間の約900mで、車道の4車線化に向けた道路改修工事が平成31年4月に完了した。
- ・ 小山乞田線等でLEDによる道路照明の整備を進めている。
- ・ 東京都が小山乞田線を重点整備路線に位置付け、通称名の表示の充実や道路整備を行った。
- ・ 区画線の整備として薄くなった白線の引き直しを実施。

■最近の取り組み状況

～無電柱化に向けた電線共同溝の整備工事について～

- ・ 平成29年度に多摩消防署付近から鎌倉街道との交差点になる永山交差点までの区間の内、東側が工事完了。平成30年度から令和元年度にかけて西側の工事が完了予定。その後は工事が完了した両側に道路照明としてLEDの設置予定。
- ・ 令和元年度から令和2年度にかけて、鎌倉街道の乞田新大橋から諏訪下橋交差点間の約700mで実施予定。

② 多摩中央警察署（中田委員代理）

■高齢者の交通安全の確保

～道路環境整備～

- ・ 多摩総合体育館前交差点にある歩行者信号の青色秒数を5秒間延長。
- ・ 大橋公園交差点（永山1-14）の信号機を歩車分離化。

～交通安全教室の推進～

- ・ 多摩センター駅、聖蹟桜ヶ丘駅、永山駅で反射材着装キャンペーンを実施し、誘導活動や交通安全指導、広報啓発活動を実施。
- ・ 高齢者宅を訪問し、本人や家族に対して安全対策を指導。
- ・ 老人会や介護施設等で交通安全教育を実施する他、自動車実務教室や交通上危険性が認められる高齢者の発見とタイムリーな現場指導を実施。
- ・ 各種キャンペーン等、新聞折込による交通安全情報の発信を実施。

～運転免許自主返納の制度支援～

- ・ 警察署窓口や講習会、交通事故取扱い時等で制度の内容や特典を説明をし、普及と推進を図っている。

#### ■二輪車の交通事故防止

- ・ 聖蹟桜ヶ丘駅東口交差点に原付バイクの二段階右折用ポケットを東京都建設局に要請。
- ・ 二輪車ストップ作戦等を実施。
- ・ 二輪車重点路線について交通違反の取り締まりを強化。

#### ■自転車の安全利用の推進

～教育・啓発の推進～

- ・ 小学生から大学まで出前型安全教育を実施。
- ・ 中学生対象にスケアードストレイト方式教育を実施。
- ・ 地域イベントの場で自転車シミュレータを実施。
- ・ 令和2年6月を目途に一ノ宮交差点から新大栗橋交差点までの間に自転車専用通行帯を新設予定。

#### ■飲酒運転の根絶

- ・ 啓発運動の他、駅周辺の幹線道路において飲酒検問を実施。

#### ■交通規制の実施

- ・ 愛宕4丁目地区にゾーン30を新設。

### ③ 東京消防署（槇野委員）

#### ■救急活動状況・交通災害出場件数等

- ・ 平成30年は一昨年に比べると交通事故による出動が減っている。

#### ■応急手当の普及啓発の推進

- ・ 平成30年は一昨年に比べると普通救命講習の受講者が若干減っている。
- ・ 普通救命講習の受講者が平成31年1月に発生した事故現場に遭遇し、その場で適切な処置を行った。そのことも踏まえ、救命講習について受講を促進していく考えである。

### ④ 多摩稲城交通安全協会（千田委員）

#### ■交通安全意識の普及・啓発

- ・ 各自治体、職場において交通安全教習をフラットにした。
- ・ キャンペーンの実施やイベントに参加して広報活動や交通安全意識の高揚を図った。
- ・ 多摩センター駅前でトワイライト・オン運動を行った。その際、今は割と自動的にライトが付く自転車が多く、比較的早めにライトが点いていた。

- ・ 飲酒運転の撲滅に向けて酒類提供店にハンドルキーパーのマーク入りコースター等の配布。

⑤ 教育委員会（清水委員）

■通学路の安全確保

- ・ 毎年学校関係者や PTA、警察や教育委員会の担当者によって通学路の安全点検を実施。
- ・ 交通量が多い通学路に交通安全整理業務行事者を設置。

⑥ 多摩市役所（佐藤委員）

■道路交通環境の整備

- ・ 交通不便地域である多摩市乞田・豊ヶ丘 1 丁目・愛宕 1～4 丁目の住民を対象として、タクシー事業者 3 社の協力のもと、平成 30 年 6 月から 8 月に実証実験を実施。
- ・ 平成 30 年度より新たに土曜日に自転車撤去を実施。また、令和元年度より新たに日曜・祝日、夜間にも自転車撤去を実施すると共に、年間撤去作業回数を増加。

■運転免許自主返納制度支援

- ・ チラシの配布や多摩広報、Twitter 等で周知を行っている。

■道路の整備（表内の一部抜粋）

- ・ 多摩センター駅周辺で、平成 29 年度に引き続き平成 30 年度も視覚障がい者誘導ブロックを設置。

■交通安全意識の普及・啓発

- ・ 小学校 1、2 年生、幼稚園・保育園を対象に交通安全教育を実施。
- ・ 日常の交通公園の業務として、来園者を対象に随時指導や相談を受けている。
- ・ 児童館・学童クラブ、地域の老人クラブ等に出張型交通安全教室を実施。
- ・ 中学校を対象に疑似体験型交通安全教室（スクエアドストレイト）を、毎年市内 9 校あるうち 3 校ずつ輪番で実施。

⑦ 小田急電鉄株式会社（事務局）

- ・ 一般車両のリニューアル工事として 10 両編成車両を 1 編成分、4 両車両編成の車両を 1 編成分コンプレッサーの低騒音化等を実施。
- ・ 早期地震警報システムや地震・気象情報監視システムを導入。

⑧ 京王電鉄株式会社（事務局）

- ・ 聖蹟桜ヶ丘駅でホームに転落防止ゴムの設置と点状ブロック JIS 規格化を実施。
- ・ 銅官柱への更新や高架橋の耐震補強を実施。
- ・ 警察・消防等と合同テロ対策対応訓練を実施。

- ・ 平成30年度より返納サポート協議会へ加盟。

⑨ 神奈川中央交通株式会社（事務局）

- ・ 平成31年3月31日現在、多摩営業所にある在籍車両は全てノンステップバスへ切り替え済み。
- ・ 中乗り～前乗り乗車方式について、急行バスを除き一般路線バスは全て切り替え済み。

⑩ 京王電鉄バス株式会社、京王バス南株式会社（事務局）

- ・ バスが右折しやすいように、健康センター入口交差点と鶴牧2丁目交差点、一ノ宮交差点の信号機サイクル調整を警視庁へ依頼中。
- ・ 多摩営業所の在籍車両全てがノンステップバスとなった。

⑪ 多摩都市モノレール株式会社（事務局）

- ・ 特出しする情報はないが、安全対策として様々な研修等々を実施。
- ・ 開業20年となり施設や設備の老朽化が顕在化している。順次施設整備の更新予定。

(5) 議題1に関する質疑応答等

- ・ 特になし。

(6) 議題2

平成30年交通事故状況等について（中田委員代理）

- ・ 平成30年中の交通人身事故発生状況を資料 No.4 を参照して、平成29年中の実績と比較しながら説明。
- ・ 死亡事故3件の詳細説明。

(7) 議題2に関する質疑応答等

Q.高齢者が巻き込まれる事故が多いのかと思っていた。（会長）

A.多摩市は高齢者が加害者の場合が多くなっている。（中田委員代理）

(8) 議題3

その他情報交換

- ・ 令和元年10月9日に多摩センター出張所に救急車が1台増強。（槇野委員）
- ・ 新大栗橋交差点の歩車分離を警視庁の協力のもとに行っている。今年度中に直進車線を1つ増やして、最終的に交差点直前では4車線となる予定。問題点としては、稼働する信

- 号が分かり難く見落としてしまうことがあり、警視庁が取り締まりを実施。(澤井委員)
- ・ 携帯電話等のながら運転は年々右肩上がりで増加している傾向にあるため、令和元年中に罰則を約3倍強化する。(中田委員代理)
  - ・ 高齢者運転免許自主返納サポート協議会の加盟企業が3、4年前に比べると2割以上増えた。今後は多摩市の公式 Twitter や多摩広報に警視庁と相談しながら発信していく予定。(事務局)
  - ・ 鎌倉街道沿いの町田市にある青山学院大学のグラウンド付近で、道路の斜面が崩落した。街路樹と東電柱が倒壊し、両車線を塞いでいたので復旧に当たり、作業から12時間ほどで片側道路を開けた。(澤井委員)
  - ・ 日野橋の被害が大きく現在も通行止めになっており、仮橋を架けるとしても時間がかかってしまう。(澤井委員)
  - ・ 関戸橋の工事を休止している理由は、出水期と乾水期が関係している。安全性を考慮して、大体4月から10月末までの間は堤防内での工事はできない。(事務局)
  - ・ 多摩稲城交通安全協会が高齢化しており、対策しないと今後大変になると危惧している。(千田委員)
  - ・ 尾根幹線沿いにある国士舘大学前の横断歩道を多くの学生が通るが、草やフェンスの影響で見通しも悪く歩行者用のたまり場も無いため危ない。(千田委員)  
→中央警察署と国士舘大学と連携を取りながら対策を考えていきたいと思う。(事務局)
  - ・ 災害によって発生する土砂やヘドロの捨て場に困ってしまう。難しいとは思いますが、自治体の方でそういった災害ごみの捨て場を用意しておいたほうが良いと考える。(千田委員)  
→被災の土砂だけではなく家庭から出るものの対応をどう考えていくのか、防災安全課と協議して進めていきたいと思う。(会長)

#### (9) 会長閉会の挨拶(会長)

- ・ 多摩市では人命に関わる大きな被害は無かったが、今回の台風被害から多くのことを学び十分気を付けながら進める。
- ・ 今後も交通安全の推進についての協力依頼。